



東北大学大学院農学研究科
応用動物科学系セミナー

日本農学賞受賞記念講演

「産卵と骨のバイオサイエンス」

楠原征治先生

新潟大学名誉教授 農学博士

日時:2007年12月21日(金) 15:00~16:30

会場:農学研究科事務棟2階大会議室

楠原征治先生は、帯広畜産大学獣医学科を卒業され、本学畜産学科家畜解剖学教室(機能形態学分野)の大学院を修了後、新潟大学の教員になりました。先生は、これまでの研究業績が高く評価され、今年度の日本農学賞を受賞されました。この度、楠原先生をお招きし、受賞を記念してご講演をいただくこととなりました。

講演内容

先生は、家禽の産卵期に出現する骨髓骨を基礎と応用の両面から探求し、卵殻形成における骨髓骨の機能特性を明確にするとともに、国内で多大な損失を蒙っている軟・破卵の発生に骨髓骨が果たす役割を明らかにしました。また、世界に先駆けて、骨の細胞にエストロゲンレセプターが存在することを骨髓骨で発見し、骨髓骨がエストロゲンの直達作用によって形成されることを実証しました。この研究成果は、エストロゲンと関連の深い人間の骨粗鬆症への解明と治療に大きく貢献するものです。最近の研究では、米国で発見された約7,000万年前のティラノサウルスに鳥類の特異組織である骨髓骨が存在することを確認され、鳥類の恐竜起源説を支持する確証になりました。このように、先生は骨髓骨の基盤的、応用的研究を長年にわたり精力的に展開され、多大な成果を得られました。本セミナーでは、先生のこれまでの一連の研究成果をご講演いただきます。

問合せ先:応用動物科学系・機能形態学分野(8704)

